



ゆい
びわ湖大津 結の観光

交流が喜びを生むまち をめざして

大津市観光交流基本計画

平成21年3月

はじめに



近年、人口減少・少子高齢化の到来や余暇時間の過ごし方の多様化など社会経済状況の変化に伴い、観光についての意識も、これまでの名所旧跡や海・山に象徴される観光資源を求めるだけでなく、自然や地域の人とのふれあいを求める志向が高まってきています。

このような中、国においては、観光立国の推進を目指す観光立国推進基本法が制定され、平成 20 年 10 月には国土交通省に観光庁が設置され、観光立国の実現に取り組む体制が整えられたところです。

本市においても、美しい比良・比叡の山並みに抱かれたびわ湖、その玄関ともいえるべき大津港や、比叡山延暦寺、日吉大社、三井寺、石山寺などの社寺、石積みのまち坂本、さらに古くからの雄琴などの温泉地等、こうした観光資源を活かしながら、あたたかいおもてなしの心あふれる観光まちづくりを推進することが求められています。

今回、数多くの資源を一層磨き上げ、新たな観光交流を創出することで地域の活性化を図るために、向こう 8 年間の観光交流の基本的な施策や推進体制などを定めた「大津市観光交流基本計画」を策定いたしました。

計画のテーマについては、観光資源、イベント・行事、人々の活動、組織の「連携」を大切にするという思いを込めて「びわ湖大津 結の観光」とし、その推進にあたりましては、市民、事業者、団体、行政が、互いに協力しながら取り組むこととしております。私も大津市のトップセールスマンとして、びわ湖大津を国内外に P R し、来訪者が気持ちよく滞在してもらうことはもちろんのこと、広く市民の皆さまも含め、大津のすばらしさを知っていただき、一人でも多くの大津ファンを増やし、観光交流を推進していきたいと考えております。

終わりに、本計画の策定にあたり、様々な視点からご審議いただきました大津市観光交流計画策定懇話会の委員の皆様をはじめ、貴重なご意見をいただきました関係各位に心より厚くお礼申し上げます。

平成 21 年 3 月

大津市長 目片 信

目 次

はじめに

第1章 計画の枠組	1
1 策定の趣旨	1
2 計画の位置づけ	2
3 計画の対象	2
(1) 分野	2
(2) 主体	2
(3) 地域	3
4 計画の期間	3
第2章 大津市観光交流の現状と課題	7
1 観光交流をめぐる社会潮流	7
(1) 観光へのニーズと求められる役割の変化	7
(2) 今後の展望	13
2 大津市観光交流の特性	14
(1) まちの成り立ち	14
(2) 観光客	16
(3) 観光資源	24
(4) 旅行商品・サービスの取組	30
(5) 観光施設・インフラ	34
(6) 推進体制	36
3 大津市観光交流の課題	37

第3章 観光交流の目標と方針	41
1 目指すべき観光交流の姿	41
(1) テーマと理念	41
(2) 目標	42
2 取組の基本方針	43
(1) 基本方針	43
(2) 各主体の役割	44
第4章 観光交流基本施策	47
1 全体施策の体系	47
2 施策の内容	48
第5章 観光交流重点施策	59
1 重点施策の枠組	59
2 各施策の方針	60
第6章 計画の推進	65
1 取組情報の整備と提供	65
2 関係主体協働での推進体制	65
3 進行管理	65
参考資料	66
「大津市観光交流基本計画」の策定経過	66
(1) 懇話会における検討	66
(2) 大津市観光交流計画策定懇話会設置要綱	67
(3) 大津市観光交流計画策定懇話会委員名簿	69
(4) 市民等への公表と意見募集	70